

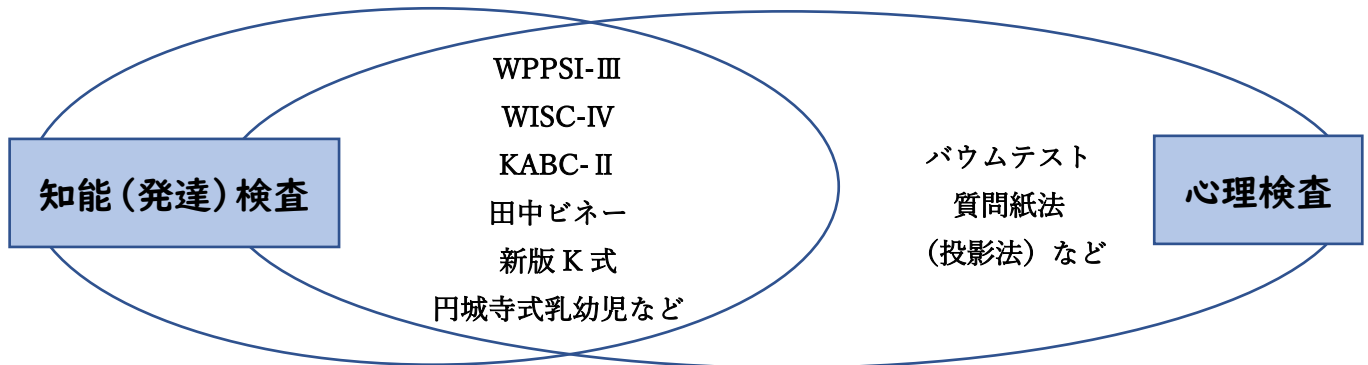
～緊急事態宣言中ですが相談室は通常モードで開室しています～

ザックリと

<今月もこのテーマです>

お話します

心理検査と知能検査について



「心理検査を受けましょう」「知能検査を受けましょう」「発達検査を受けましょう」と言われたら、何がどう違うのか分かりづらいですね。上の図のようにイメージしてみてください。

お子さんによっては知能検査と心理検査の両方を実施する場合がありますし、知能検査の数種類を組み合わせることもあります。何の検査を実施するのか、事前によく確認をしておくといいでしょう。

「知能(発達)検査」

お子さんの発達の凸凹具合を探るために行う検査で、統計学的にIQが算出されます。よく実施されるのは「WISC(ウィスク)」です。当相談室や医療機関でも実施しています。児童相談所では「ビネー」が定番のようです。発達様症状があり、検査を勧められた場合はこの種類の検査を実施することがほとんどだと思います。

「心理検査」

この検査でこころの中の状態が分かるという訳ではありませんが、検査をきっかけにお子さんの考えていることや疑問に思っていることを話してもらうことがあります。ある程度の点数化をして、うつ状態やこころの状態を数字で表し、診断や治療、カウンセリングの手助けにするものです。また、お子さんのこころの中でなかなか表に出せないものを、少しでも表せるように手助けする役割もあります。

<今月のまとめとお知らせ>

当相談室では、検査が決まったら事前にお子さんと検査者で面談を行い、一緒に遊んで仲良くなってもらいます。検査当日はお子さんと検査者が1対1で行いますので、事前に関係づくりをして検査がスムーズに進むよう工夫しています。また、お子さんと検査者が面談を行うことで、お子さんにどんな検査が必要かを判断しています。

心配や不安なことがあったら、まずは当相談室スタッフにお声掛けください。